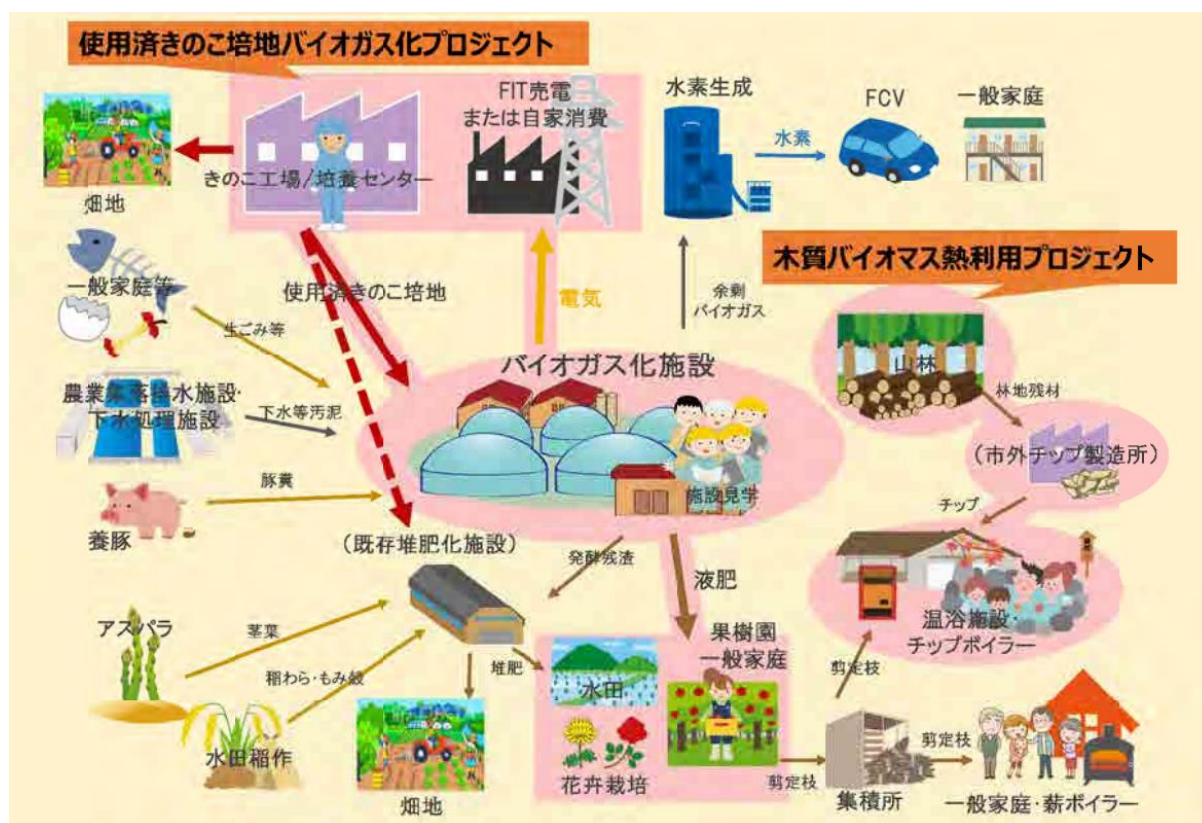


# 長野県中野市

住所	〒383-8614 長野県中野市三好町1-3-19
市長	湯本 隆英
HP	<a href="https://www.city.nakano.nagano.jp/">https://www.city.nakano.nagano.jp/</a>
バイオマス産業都市選定年度	2019年度
バイオマス産業都市構想	<a href="https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019052300028/file_contents/20190702_.pdf">https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019052300028/file_contents/20190702_.pdf</a>
担当部署	経済部農業振興課
連絡先 TEL	0269-22-2111 (内線253)
連絡先 FAX	0269-22-5924
連絡先 E-mail	nosei@city.nakano.nagano.jp



## I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	実施中
プロジェクト 2	木質バイオマス熱利用プロジェクト	実施中

プロジェクト No.1	使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	
実施主体	中野市	
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> メタン発酵バイオガス発電	
概要	<p>全国有数のきのこの生産地としてブランド化しており、きのこ生産量の増加に併せて使用済きのご培地も増加している。そこで、使用済きのご培地をバイオマス資源として位置付け、有効に利用し資源循環を構築するために「バイオガス化プロジェクト」に取り組み事業化の促進を図ることとしている。</p> <p>使用済きのご培地の他に生ごみ、下水汚泥及び農業集落排水汚泥、家畜排せつ物といった市内で発生する有機性廃棄物を原料としてメタン発酵及び発電を行う。発電はバイオガス発電機により行い、電気は FIT 売電を行う。</p>	
内容	項目	計画値
	原料：使用済きのご培地 利用量(t/年)	8,250
	原料：生ごみ 利用量(t/年)	4,125
	原料：家畜排せつ物 利用量：(t/年)	3,039
	発電量(kwh/年)	4,197,600
	FIT/FIP の適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	その他（エネルギー利用） 自家施設消費 (kwh/年)	396,000
	その他（マテリアル利用） メタンガス(t/年)	2,226
<b>事業の進捗状況</b>		
2021 年度に農林水産省の食料産業・6 次産業化交付金バイオマス利活用高度化の推進事業を活用し、バイオマス産業都市構想上の事業化プロジェクトについて、市内の民間事業者が基本設		

計を作成したが、今般の世界情勢による資材価格高騰の影響等により、事業採算性の確保が困難なことから事業化については中止となった。	
計画との進捗割合を%で示す。	進捗割合 20 (%)
<b>イニシャルコスト (千円)</b>	<b>計画値</b>
・ 建設費・設備費等	1,602,000
合計	1,602,000
<b>ランニングコスト (百万円/年)</b>	<b>計画値</b>
合計	90
<b>停滞要因と事業運営上の課題、失敗談</b>	
<p>・停滞要因</p> <p>2021 年度に農林水産省の食料産業・6 次産業化交付金バイオマス利活用高度化の推進事業を活用し、バイオマス産業都市構想上の事業化プロジェクトについて、市内の民間事業者が基本設計を作成したが、今般の世界情勢による資材価格高騰の影響等により、事業採算性の確保が困難なことから事業化については中止となった。</p>	
<p>・課題</p> <p>社会情勢が急激に回復することは想定しづらいことから、事業化を実施するためにはプラン及び構想の根本的な見直しが必要である。現行の事業化プロジェクトの内容で採算性を確保することは困難である。</p>	
<p>・失敗談</p> <p>社会情勢の理由の他に、建設候補地がハザードマップの浸水想定区域であり、また使用済きのこ培地が一般産業廃棄物の扱いであることから、施設の建設自体が難しいことが分かった。</p>	

<b>プロジェクト No.2</b>	<b>木質バイオマス熱利用プロジェクト</b>
実施主体	中野市
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> 熱利用
概要	<p>中山間地域に位置する本市は、総面積のうち 30.8%を山林が占めている。現在、および今後の森林施業面積の拡大計画による残材の発生増加を見込み、木質バイオマスとしての有効活用を期待する。</p> <p>また、本市では指定管理制度導入施設である温浴施設があり、現状は化石燃料による熱供給を行っていることから、既存の温浴施設にける熱供給を化石燃料から木質チップ等のバイオマス燃料に転換して、バイオマス原料木材を有効に利用し資源循環を構築する「熱利用プロジェクト」に取り組み、事業化の促進を図ることとする。</p>

内容	項目	計画値
	燃料：森林残材	
	利用量(t/年)	386
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	熱利用（用途） 熱利用量(MJ/年)	市内温浴施設 2,592,000
<b>事業の進捗状況</b>		
計画との進捗割合を%で示す。		進捗割合 20 (%)
<b>イニシャルコスト（千円）</b>		<b>計画値</b>
・ 建設費・設備費等		72,180
合計		72,180
<b>ランニングコスト（百万円/年）</b>		<b>計画値</b>
・人件費		0
・購入費（原料・燃料）		1.6
・ユーティリティ費（電気・ガス・水道料金等）		6.8
・修繕費		0.5
・廃棄物処理費		0.3
・その他		0.4
合計		9.6
<b>停滞要因、事業運営上の課題</b>		
<p>・停滞要因</p> <p>バイオマス産業都市構想策定時は、市内の指定管理施設の温浴施設での導入を想定していたが、民間企業へ譲渡となってしまったため、指定管理から外れ、実施ができなくなった。また、剪定枝の収集・保管についての目途が付かず、安定した熱利用の事業化が難しいため。</p>		
<p>・課題</p> <p>ボイラー等の設備設置場所や燃料となる木材の保管場所を確保しなければならないという課題がある。構想では熱供給事業に絞っているが、提案機器については発電するものや、木質バイオマスを土壌改良材として使用し、土壌へ炭素を貯留するものがあつたことから、今後の事業展開の可能性を探る。</p>		

## II 脱炭素化の取組状況や取組方針

### II-1 地域における脱炭素に関する計画

計画名称等	策定年度 (選定年度)	(未定の場合) 策定予定の有・無
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	<b>2023年度</b> <a href="https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2024032900099/file_contents/nakanoshikuikisesakuhen.pdf">https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2024032900099/file_contents/nakanoshikuikisesakuhen.pdf</a>	
分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン	<b>2018年度</b> <a href="https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019041500033/file_contents/H30.pdf">https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019041500033/file_contents/H30.pdf</a>	
ゼロカーボンシティ宣言		<b>予定有り</b>

### II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

- ・既存住宅エネルギー自立化補助金の交付
- ・宅配ボックス等購入費補助金の交付